

日本小児科学会小児救急委員会主催

第1・2回小児診療初期対応コース，第1回JPLS講師養成コース開催報告

開催日時	第1回小児診療初期対応コース：2016年12月10日（土）9：00～16：40 第2回小児診療初期対応コース：2016年12月11日（日）9：00～16：40 第1回JPLS講師養成コース：2016年12月11日（日）9：00～16：40
開催場所	水道橋グランドホテル 〒113-0033 東京都文京区本郷1丁目33-2
参加費	小児診療初期対応コース：20,000円 JPLS講師養成コース：15,000円
参加者数	29名（小児診療初期対応コース23名，講師養成コース6名）

第1・2回小児診療初期対応コース，第1回JPLS講師養成コース 報告

松裏 裕行
日本小児科学会小児救急委員会

小児診療初期対応（JPLS）コース

本コースは、「防ぎうる心停止から子どもたちを守る」ことを目的とし、日常的な外来・病棟における危険性の認知（重篤性の早期認識）と対応（早期介入）を学ぶコースで、2016年12月10日（土）に第1回を、11日（日）に第2回をそれぞれ東京都文京区の水道橋グランドホテルにて開催した。申し込み人数が定員（各回12名）を超え小児救急委員会にて受講者の選考を行った。受講者は専用Webサイトから事前学習コンテンツおよびプレテストを受講後、当日の講習に臨んでいただいた。

高橋孝雄日本小児科学会会長の挨拶、コースコンセプト説明の後、グループ（4人1組）ごとに小児評価トレーニング・スキルトレーニング（呼吸・循環・徐脈/心停止）・シナリオロールプレイ・振り返りを行った。

本コース受講後、専用Webサイトから事後学習およびポストテストを受講いただき、ポストテストの受講をもって本コース修了とする。

JPLS 講師養成コース

2016年12月11日（日）に日本小児科学会事務局会議室にて開催した。

本コースは、小児診療初期対応コースの講師を目指す方を対象としたコースであり、講師としての心構え、コース構成およびコンセプトの理解、講師としてのスキル（ファシリテーション、デブリーフィング）習得、ロールプレイを行った。

本コース受講後、小児診療初期対応コース講師補助として経験を積み（最低2回）、小児救急委員会による審査後、当会理事会による承認を条件に講師として認定する予定である。

次回以降の開催は、2017年2月（大阪，第3・4回小児診療初期対応コース/第2回講師養成コース併催）、2017年6月11日（富山，第5回小児診療初期対応コースのみ）、2017年9月（東京，第6・7回小児診療初期対応コースのみ）、2018年2月（大阪）を予定している。